

稲田定雄 （昭和） ロシア文學翻譯家、歌人、小説家。明治四十二年七月  
 一日福岡縣八幡生れ（一九〇九）。昭和九年大阪外國語學校露語部卒。  
 日本ロシヤ文學會理事、長流會歌謡編輯委員、同人雜誌『外語文學』發  
 行人。

譯書に、ニコライ・オストロフスキイ作『鐵はひかに鍛へられるか』  
 （第一部）『（他三名共譯、昭和十一年七月十一日文學界内社）、オ  
 ストロフスキイ作『嵐は生れ出づるもの』』（昭和十二年一月二十八日  
 第一書房）、N・A・ルイセンコ著『コツホの生涯—ファイルピョウ簿  
 をめぐる』』（昭和十八年十一月一日東邦社）、『コレージュモンテナ抒情  
 詩集』』（昭和二十七年六月二十日創元社「創元文庫」）、『ガリーナ・  
 ニコラエヴァ作『愛はついで』』（昭和二十一年二月二十日現代社「現  
 代新書」）、『エレンブルーケ詩集『長崎の雨』』（昭和四十二年五月二  
 十日勁草書房）等。著書『妻の体温』』（昭和五十六年十一月十五日雁  
 書館）、『或る女の横顔』』（昭和五十六年十一月十五日雁書館）等。

